

JRC加盟校として ~地元尾久から学ぶ平和学習~ 尾久初空襲 講演会 3月2日(土)

本校は、本校は長年、青少年赤十字(JRC)に加盟しており、八幡中の伝統のようになっています。コロナ禍により、活動を休止せざるを得ませんでした。今年度、創立60周年を機に、あらためてその活動をスタートさせ始めています。今回、JRCの3つの実践目標の一つ「国際理解・親善」について考える機会として、地元尾久で活動している「尾久初空襲を語り継ぐ会」の方々にご協力いただき、尾久初空襲についての講演会を行いました。



当日の講師として、「尾久初空襲を語り継ぐ会」から、会長の加治木善英さん、当時の空襲の体験者の堀川喜四雄さん、広報担当の瀬野喜代さんにご来校いただきました。会長の加治木さんからのご挨拶の後、瀬野さんから様々な資料をもとに尾久初空襲についての説明をいただき、堀川さんから体験に基づいて当時の様子や戦争の恐ろしさについてお話いただきました。

戦後80年近く歳月が流れ、当時の体験者が少なくなるなか、尾久初空襲の語り部も堀川さんだけだそうです。とすると、今回は、体験者から直接お話を伺える数少ないチャンスといえるでしょう。それを聞くことができた私たちは、こうした過去から学び、戦争や平和についてあらためて知るとともに、私たちが今できることはなにかを考える機会にしてほしいと思います。そうすることで、JRCの実践目標「国際理解・親善」の活動につなげていってほしいと思います。ご講演いただき、ありがとうございました。